

令和6年度 施設見学会 実施報告書

1. 概要

(一社)全国上下水道コンサルタント協会(以下、「水コン協」と記載)関西支部では、令和6年度施設見学会を実施しました。

本見学会では、日本下水道事業団様にご協力頂き、兵庫東流域下水汚泥広域処理場 汚泥処理施設改築工事現場の見学を行いました。現在稼働中の汚泥処理施設について、現場担当者の方から脱水機や焼却炉設備等の現有設備について設計・建設当初の苦労話を交えつつ説明をいただきました。また、改築工事現場では、DB方式により現在建設が進められている鋼板製消化槽、汚泥燃料化施設などの施設設備群について受注業者の工事担当者に説明いただきました。最新の汚泥処理フローや汚泥処理技術を説明いただき、さらには汚泥処理棟の土木建築の施工現場も見学することができました。

また、施設見学会後には、日本下水道事業団職員様と合同で意見交換会を開催し、現場担当者の方を交えた意見交換および質疑応答を交えて、技術的な理解を深めました。

2. 施設見学会スケジュール

- | | |
|------------|-----------------------------|
| I. 日 時 | 令和6年9月19日(木) 14:00~16:30 |
| II. 施設見学会 | 兵庫東流域下水汚泥広域処理場 汚泥処理施設改築工事現場 |
| III. 意見交換会 | 武庫川下流浄化センター 会議室 |

3. 参加者とアンケート調査結果

参加者は、協会員36名と主催者4名の計40名となりました。

アンケート調査では、施設見学会において「大変有意義」が約7割、「ある程度有意義」が約3割、また、意見交換会でも「大変有意義」が約6割、「ある程度有意義」が約3割となっており、ともに全般的に高い評価を頂くことができました。

有意義と感じた理由としては、「この規模の汚泥処理施設を初めて見学し、施設規模や処理の仕組みを学ぶ貴重な経験となった」、「汚泥処理施設を計画・構築・維持するうえでの施工メーカーや県の苦慮を横並びで伺うことができた」、「最近注目されているDB、汚泥資源化という内容であることがよかった」といった御意見を頂きました。

一方、施設見学会全般に対して「小グループに分けて、ディスカッションや意見・感想交換ができれば、より知識共有や勉強になると思う」、「施工業者のお話や質疑応答の時間が少し短かった」、「脱水機設備等の実際の稼働内部をみられるのもっとよかった」といったご指摘を頂き、反省点もありました。こうしたご意見・要望等は、今後の施設見学会に活かしていきたいと思えます。

また、今後の施設見学希望として、新設・大規模な污水处理施設見学、最新技術や珍しい設備を取込んだ施設見学、基礎施工現場、機器搬入現場、稼働中の脱水機設備見学、シールド工法や推進工事現場見学と多種多様な御意見を頂きました。

参加者の専門職種によって見学希望がばらつく傾向があるものの、要望を網羅するような見学先を検討したいと思えます。

4. 最後に

水コン協関西支部では、コロナ禍で休止していた施設見学会を令和4年度より再開いたしました。

施設見学会では、可能な限り協会員の皆様方の要望を踏まえたイベントとして実施するよう心がけています。今後とも技術研鑽の一環として、水コン協の施設見学会を継続して企画してまいりますので、関係者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

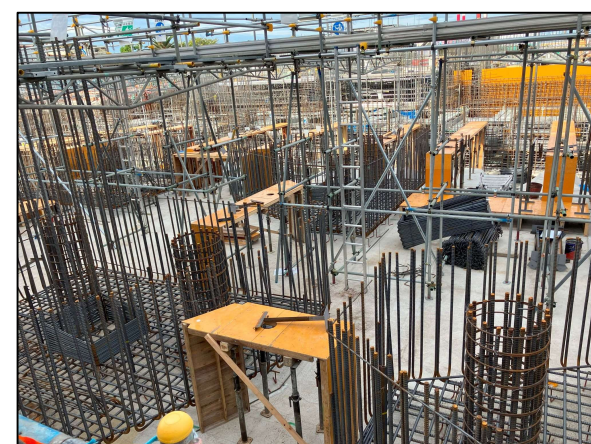
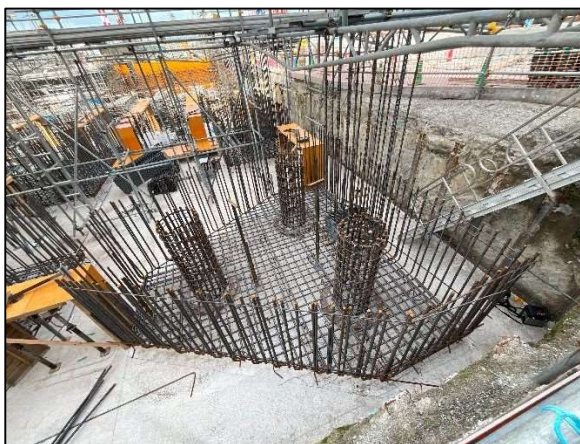
焼却炉設備建設工事現場



鋼板製消化タンク工事現場



汚泥処理棟工事現場



意見交換会状況

